

軟骨増殖成分 卵黄から精製

ファーマフーズなど開発

機能性食品素材開発のファーマフーズ(京都市西京区)と健康食品卸売・通信販売のエバーライフ(福岡市)が、卵黄から軟骨細胞を活性化させる働きを持つペプチドの開発に成功した。機能性素材として健康食品に配合することで、高齢者が悩む膝関節痛への効果が期待できるといふ。29～31日に札幌市で開かれる日本食品科学工学会で発表する。

正常な膝関節は大腿骨とヒアルロン酸を注入した脛骨の表面を関節軟骨が覆り、人工関節に置き換えたイクシヨンの役割をして、りする治療法がある。いるが、加齢や肥満などに、西社は約5年前から共同よって関節軟骨がすり減るで研究し、卵黄由来の成分と、痛みを伴う変形性膝関節に骨の成長促進効果がある節症を発症する。関節内に、こと着目。卵黄のタンパ

膝関節痛への効果期待

健康食品に配合も

ク質に特殊な分解処理を施し、ペプチド「iHA(アイハ)」の精製に成功した。iHAを添加した軟骨細胞が増殖し、ヒアルロン酸の産生も促進されることを確認。ウサギの膝の関節軟骨に穴を開け、iHAを3週間投与する試験では、投与しなかったウサギの軟骨には空洞が残り、投与した場合は軟骨の穴が埋まったという。

今年5月からは、膝の痛みを自覚する40～70代の男

女51人を対象に臨床試験を実施。iHAを1日1回、▽200ミリ増取▽50ミリ増取▽増取しないの3グループに分けて8週間試験したところ、増取した人の方に優位な改善効果がみられたという。エバーライフはすでにiHAを配合した錠剤の健康食品を8月上旬から販売しており、ファーマフーズは「膝関節痛にはこれまで効果的な素材がなかった。高齢化が進む中、軟骨細胞を増殖させる卵黄ペプチドを見いだしたことは大きい」としている。

(大西保彦)